

第2893回 7月13日 ローター財団部門地区補助金大口枠事業紹介
ロータリー財団委員長・国際奉仕委員長

【財団寄付とは】

財団への寄付とは



財団寄付の種類(1/3)



ロータリー財団への寄付推進

主な寄付として、以下3つがある。

- ①年次寄付
- ②恒久基金寄付
- ③ポリオ・プラス寄付

①年次寄付

- ロータリー財団補助金とプログラムの主な資金源。寄付して3年間運用後、活動資金として振り分けられる。
- 目標額は…会員1人あたり、\$200以上



財団寄付の種類(2/3)



②恒久基金寄付

- 元金は使わず、投資して得られた収益だけを使う
- 目標額は…1クラブあたり \$1,000(会員50人未満) (ベネファクター1名分)
- \$2,000(会員50人以上) (ベネファクター2名分)



財団寄付の種類(3/3)



③ポリオ・プラス寄付

- ポリオを世界から根絶するための寄付
- 目標額は…会員1人あたり、\$50



【ロータリー財団のイメージ・地区補助金の概要】

1. ローター財団イメージ図



1. 地区補助金の概要 (地区の裁量)



- ・地元や海外の地域社会のニーズに取り組むための、比較的規模の小さい、短期的な活動を支援します。
- ・地区補助金はさまざまな奉仕プロジェクトに柔軟に活用できます。
- ・地区が管理・配分しますので、クラブは地区の申請要件に従わなければなりません。



3. 地区補助金 (通常枠) 配分



3. 地区補助金 (通常枠) クラブ拠出金の下限



井川年度、国際奉仕委員長を仰せつかっております、松下です。本日は、今年度国際奉仕委員会の活動として計画している事業を会員の皆様に発表させていただきます。今年度計画の1番に上げさせて頂いております、虹の学校への宿舎建設支援事業について主にご説明させていただきます。

ここで、この支援事業の一環として地区補助金大口枠の申請をしました。地区補助金上限である5千ドルを申請した訳ですが、支援事業についてプレゼン大会を通過するの必要がありました。そこで、プレゼン大会に挑戦した時の映像がございますので、皆様、是非ご覧ください。【動画にて】

映像を見ての通り島村さんにプレゼンを担当して頂きました。島村さんの素晴らしいプレゼンの結果、トップでプレゼン大会を通過し申請額5千ドル満額の補助金を頂くことが出来ました。島村さんありがとうございました。また、こちらにお越しのキャッツハンド代表の福島様には、パワーポイントデータの制作にご協力頂きました。福島さんにはゴールデンウィーク期間中にも関わらず休日返上でデータ作成にご協力頂き本当にありがとうございました。

ここで虹の学校より建設予定宿舎の図面と見積もりが届いておりますので、古澤会員に説明をお願いしたいと思います。【古澤会員より説明頂きました】

次に、このプロジェクトの目標金額ですが、300万円を目標としています。

内訳ですが、地区補助金より5千ドル
ニコニコより180万円

不足分は有志の方より募金を募り約60万円

とさせて頂き、できれば300万円満額達成して虹の学校に送金したいと思っております。

建設過程においては、古澤さんはじめ国際奉仕委員会の委員の方々にご協力頂き、現地視察等も含め、確実に管理させて頂きますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

井川年度国際奉仕委員会活動計画発表とさせて頂きます。

ご清聴ありがとうございました。(7月13日卓話時の映像をもとに説明)



【ロータリー財団寄付について】
卓話中の市川会員

【2022年7月例会のお知らせ】

- ③ 7月20日(水) 移動例会「米山梅吉記念館」→延期のため通常例会に変更
点鐘 12:30～ 3階ゴールドルーム
- ④ 7月27日(水) 点鐘 12:30～ 3階ゴールドルーム
「クラブフォーラム」(出席・職業奉仕についてディスカッション)

【臨時理事役員会】

7月13日(水) 13:30～
於：例会場

【DBI研修】

7月16日(土) 13:00～
於：川口駅前市民ホール フレンティア
参加者：斎藤光人ガバナー補佐、泉谷R情報委員長
森島公共イメージ委員長、島村増強委員長、宮島幹事

